

保護者のみなさまへ

「小学生ロボコン」は、「高専ロボコン」※1、「NHK学生ロボコン」※2、「ABUロボコン」※3に続く第4のロボットコンテスト（ロボコン）で、ロボット好きの小学生のための大会です。2018年度のプレ大会を経て、2019年度から開催しています。以下、「小学生ロボコン」と略記します。

小学生ロボコンには、小学生ならだれでも個人で参加できます。お子様ならではのアイデアでつくったロボットで、競技課題に挑戦してみてください。スコアやタイムだけでなく、ロボットのアイデアも重視するため、特に全国大会では、各協賛企業からの「特別賞」、そして「小学生ロボコン大賞」※4などが設けられています。

競技ではスコアやタイムが計測されるため、選手たちが悔しい思いをすることも少なからずあるでしょう。しかしながら、自分なりのアイデアを出し、実際にロボットを制作し、また操縦するのは、とても素晴らしいことです。大会に出場すると、他の選手のロボットを目にすることで、また違ったアイデアの着想を得ることができます。次のロボットづくりやものづくりなどに活かすいい機会です。

そのため、きょうだいやグループで参加する場合も、複数の選手によるロボットやロボットの部品の共用はできません。グループ参加の場合、選手同士で似ているロボットがあることはおすすめしません。特に、根本的な構造や制作過程がほぼ同じロボット群での参加はおやめください。

また、ロボットの制作や操縦などは、全て選手自身がおこなって下さい。大人をはじめとする選手以外が、ロボットづくり自体を手伝うだけでなく、競技中に操縦のための指示を出すようなことも禁止です。

小学生ロボコンは文字通り、小学生の選手のためのロボコンです。材料や道具の素晴らしさを競ったり、大人の技術力に依存したり、周囲からの入れ知恵に従って点数を得たりするための競技ではありません。限られた材料や道具しか使用できないなどといったルールの制約の中で、選手が自分で考え、また自分の力で作業することが何よりも大切です。保護者やスクールの指導者などの皆様には、参加申し込みなどの手続きと、ロボットづくりの周辺でのご支援をお願いします。

こういった経験を通じて、ロボットづくりや操縦の技術だけを学ぶのではなく、「自ら課題を見つける力」や「正解がない時代を生き抜く力」そして「仲間と協力して課題に取り組む力」を身につける――。

小学生ロボコンは、その一助になりたいと考えています。

2026年7月

小学生ロボコン実行委員会（NHK エンタープライズ、科学技術館）

※1：「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト」。高等専門学校の各キャンパスから参加。

※2：日本各地の大学、高等専門学校や大学校から参加。優勝チームなどがABUロボコンへ出場。

※3：「ABUアジア・太平洋ロボットコンテスト」。アジア太平洋の国・地域の高等教育機関から参加。

※4：大きな夢とロマンを持ってアイデアあふれるロボットを作成し、素晴らしいチャレンジで見る者に最も深い感動を与えたことを表彰する賞。